

みたけ夢だより

7月号

横浜市立みたけ台小学校

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

心が動くとき

校長 長尾 晴美

昼間の一番長い夏至の日が過ぎました。これからいよいよ夏本番です。先日の休み時間、校庭で飼育ケースを持った子が中身を見せてくれました。「チョウになって飛んでいったので、これは外にうめようと思って・・・」ケースの中にはサナギの抜け殻が残っていました。どうやら飼育していた幼虫が、その日サナギからチョウになったようです。飛び立って主がいなくなったケースに残った抜け殻も大事に思う気持ちが伝わり、ほんわかとした温かい気持ちになりました。

さて、今年も「朝ごほん」のみなさんによる絵本の読み聞かせ、「おはなしのゆりかご」の語り手の方によるお話の時間が、木曜日の朝に始まっています。どの教室にも、耳を傾けて、じっと本や語り手を見つめる子どもたちの姿が見られます。私の好きな絵本の一つに「花さき山（学校の図書室にも数冊あり）」があります。いつ読み返しても、人が人を思うけなげさ、せつなさ、やさしさが心に響く本です。人がやさしいことをしたり、人のためにじっとがまんしたりしたときに咲く美しい花。花さき山にはそんな花がたくさん咲いています。主人公のあやは、二度と花さき山を見ることはありませんでしたが、

「そのあと ときどき（あっ！いま 花さき山で、おらの花が さいてるな）っておもうことがあった」という言葉で物語は結ばれています。大事なものは目に見えないものです。だから心で感じたいものです。

6年5年4年生が、それぞれの宿泊体験学習に行ってきました。準備期間も含め、仲間との集団生活を通して、子どもたちの心が動く瞬間がたくさんありました。それはつまり、子どもたちにたくさんの力がついたということだと思います。なりたい自分を意識しながら、考えて行動する力、自分の思いを伝える力、仲間を信頼し大切にできる力・・・子どもたちの心の引き出しが着実に増えていくのを実感しました。

普段の何気ない当たり前の生活のくり返しの中からも、継続できたことが力になることがあるはずです。今年の夏、子どもたちの心に響く夏になりますよう、夏休みに向けての準備をしていきたいと思います。ご家庭でのご支援よろしくお願ひします。



大きくなあれ

6組のテラス畑のトマト